

養液栽培用

PH調整剤

PH adjuster for hydroponic cultivation

水耕栽培、礫耕栽培、NFT、ロックウール栽培等では、培養液のpHを安定させることが、養液栽培を成功させるポイントの一つです。
培養液のpHを安心して調整する為に開発されたのが、OATアグリオのPH調整剤「アップ(上昇用)」「ダウン(下降用)」です。

リニューアル
RENEWAL



PH調整剤

アップ[®] (上昇用)

1箱
10ℓ



PH調整剤

ダウン[®] (下降用)

1箱
10ℓ

アップ(上昇用)は普通物(医薬用外劇物除外)へとリニューアルし、
保管や取り扱いがしやすい製品になりました。

特長

- 1 培養液のpHを安定させることにより、根からの養分吸収が良くなり、作物を健全にします。
- 2 PH調整剤は肥料成分を主体とし、養液栽培の場面で培養液に添加できます。
- 3 水質によりpHが上昇したり、くん炭、ロックウール等からアルカリが溶出する場合は特に「ダウン」が有効です。
- 4 コック付きの10ℓバッグインボックス入りですので、取り扱いが便利です。

アップ[®](上昇用)



成分組成

水酸化カリウム…………… 3.5%
アルカリ緩衝剤、水…………96.5%

指針番号

154

国連番号

3266

使用方法

培養液の場合

pHが5.0以下になった場合、
培養液1トン当り「アップ(上昇用)」を50ml添加すると、
約0.5~1.0程度上昇します。

(注意)OATハウス1号およびOATハウス2号の濃厚原液には混用できません。
原水、または培養液に直接加えて使用してください。

ダウン[®](下降用)



使用方法

培養液の場合

pHが6.5以上になった場合、
培養液1トン当り「ダウン(降下用)」を50ml添加すると、
約0.5~1.0程度低下します。

濃厚原液の場合

OATハウス1号の6.7~20倍原液(30kg/200~600ℓ)に対して
「ダウン(降下用)」800~1500mlを攪拌しながら徐々に加えてください。

ロックウールの前処理の場合

OATハウス肥料の1/2標準培養液(EC1.2dS/m)1000ℓに対して
「ダウン(降下用)」約300ml(pH3前後)を攪拌しながら徐々に加え、
ロックウールを数時間以上浸漬した後に鉢上げ、または定植してください。

△ 使用上・保管上の注意

1. 使用量は水質、培養液濃度、生育時期等により数倍必要になる時もありますので、十分注意してください。
2. 原液を添加するときは、保護メガネ、不透性手袋、マスク、長ズボン、長袖作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
3. ご使用の際には大き目に数回揺らしてからご使用ください。
4. 石灰硫黄合剤と混用すると有毒ガスが発生するおそれがあり、危険ですから混用しないでください。
5. 保管は密栓して湿気をさけてください。
6. 保管中に凍結した場合、融解してご使用いただいても品質に問題はございません。(アップ)
7. 空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。
8. 幼児の手の届くところに置かないでください。
9. 眼に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
10. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
11. pH調整以外の用途には使用しないでください。